

資料編

1 とちぎ将来構想懇談会

県政の中長期的な指針となるとちぎ将来構想の策定に関し、県内の学識経験者等から意見や提言をいただくため、とちぎ将来構想懇談会を設置しました。

(1) 委員の公募

とちぎ将来構想懇談会委員のうち5名を公募により選考しました。

公募期間 平成13年9月25日～10月19日

(2) 経 過

	開 催 日	内 容
第1回	平成13年12月21日	・とちぎ将来構想の策定について
第2回	平成14年 7月 1日	・とちぎ将来構想第1次素案について
第3回	平成14年12月18日	・とちぎ将来構想第2次素案について

(3) とちぎ将来構想懇談会委員と庁内ワーキンググループとの意見交換会

とちぎ将来構想懇談会委員ととちぎ将来構想策定に係る調査研究を行うため設置した庁内ワーキンググループ（とちぎ将来構想策定研究会）との意見交換会を、5つの分科会に分けて開催しました。

	開 催 日	内 容
第1回	少子高齢分科会	平成14年6月18日
	環境分科会	平成14年6月18日
	教育・情報分科会	平成14年6月19日
	産業分科会	平成14年6月20日
	地域分科会	平成14年6月20日
第2回	少子高齢分科会	平成15年1月14日
	環境分科会	平成15年1月15日
	教育・情報分科会	平成15年1月21日
	産業分科会	平成15年1月22日
	地域分科会	平成15年1月24日

(4) 委員の方々 (20名)

(50音順・敬称略：役職等は、委員在職時のもの)

会 長

藤本 信義

宇都宮大学教授

会長代理

柳川 高行

白鷗大学教授

委 員

青木 克明

栃木県議会議員

秋場 泉介

会社員 (公募)

石井 晴夫

作新学院大学教授

大島 浩

高校教員 (公募)

太田 照男

栃木県医師会常任理事

大山 知子

(福) 蓬愛会常務理事兼ケアプラザ而今所長

小平 晃子

連合栃木事務局職員

栗原 義一

栃木富士産業 (株) 社長

河野 純子

ソーホマレ酒造 (株)

関谷 力

会社員 (公募)

高際 徳人

歯科医師 (公募)

田中 広

生活協同組合連合会北関東協同センター

手塚 博志

T&Tナーサリー (有) 社長・農家

豊田 省子

自治医科大学看護学部教員 (公募)

日向野義幸

栃木県議会議員

藤井 昌一

藤井産業 (株) 社長

和田佐英子

那須大学助教授

渡辺サト子

栃木県議会議員



2 「21世紀の“とちぎ”を語る」シンポジウム

県民一人ひとりが将来の暮らしや郷土“とちぎ”のあるべき姿について考えるきっかけとするため、「『21世紀の“とちぎ”を語る』シンポジウム」を開催しました。

- ・開催日 平成14年11月12日
- ・会場 栃木会館小ホール
- ・シンポジウム概要

第1部 講演 「21世紀日本の情報戦略」 坂村 健 東京大学大学院教授

第2部 パネルディスカッション「21世紀“とちぎ”の戦略」

コーディネーター 藤本 信義 宇都宮大学教授

パネラー 佐々木俊介 (株)三菱総合研究所研究理事

橋立 達夫 作新学院大学教授

和田佐英子 那須大学助教授

福田 昭夫 栃木県知事



3 県民アンケート調査

これからどのような栃木県をつくっていききたいか、多くの県民の意識を把握するため、平成14年3月、無作為に抽出した20歳以上の県民3,159人に対し、「とちぎ将来構想」に関するアンケート調査を実施しました。

4 市町村アンケート調査

市町村がこれからの栃木県づくりに望む姿や課題、抱えている問題などを把握するため、平成14年8～9月、49市町村に対し、アンケート調査を実施しました。

5 情報提供やパブリックコメントなどを通じた意見募集

インターネットやとちぎテレビの県政広報番組、広報紙「県政だより」などを活用し、「とちぎ将来構想」の策定過程などを情報提供するとともに、パブリックコメントを通して意見募集を行いました。

6 県庁内の策定体制

各部局をあげた策定作業に加えて、新たな試みとして、県庁内の若手職員で構成するワーキンググループ（とちぎ将来構想策定研究会）を設置し、部局を超えた自由な発想を活かしながら策定を進めました。